



立ち見が出るほど面白い!
東大で毎年500人以上が受講!

瀬地山 角さん講演会 & エンターテインメントショー



「ファニーず」による笑撃の

今年の男女共同参画推進フォーラムは、日本テレビ「世界一受けたい授業」の東大生100人アンケートで東大の人気ナンバーワン講義に選ばれた、ジェンダー論の研究者、瀬地山 角さんによる講演会を開催します。

当日は、会場を笑いの渦に巻き込む「ファニーず」(絵本をさまざまな形で表現する、男性保育者と学校教員のコラボチーム)のステージもあります。

小さなお子さんから年配の方まで、どなたでも参加できますので、ご家族皆様までお越しください。

日時▼11月24日(日)午後1時30分～4時15分(午後1時受け付け開始)

場所▼東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」

参加費▼無料

内容▼▽ファニーずによるエンターテインメントショー ▽女性活躍推進のための標語の表彰式 ▽男女共同参画推進事業所の認定式 ▽講演会…「笑って考えよう! 家庭のこと 仕事のこと 未来のこと

～男の家事が社会を救う～

その他▼▽ファニーずによる保育サービス(無料・予約不要)があります。▽残席がある場合、当日の申し込みを受け付けます。

申し込み・問い合わせ▼事前に、電話またはファックス・メール(▽「男女共同参画推進フォーラム参加申し込み」▽住所▽氏名▽年齢▽性別▽電話番号▽メールアドレス——を明記)で、秘書広報課女性活躍・国際化担当(☎282-1711 内線1301) FAX287-0317 ✉hishokouhou@vill.tokai.ibaraki.jp)へ申し込みください。

瀬地山 角さん プロフィール

1963年生まれ、奈良県出身。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、学術博士。10年間2人の子どもの保育園の送迎を一手に担い、今でも毎日の夕食作りを担当するジェンダー論の研究者。子連れで渡米し、父子家庭も経験した。

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —

“子どもと同じ目線に立ち、
彩り溢れる「子どもたちの世界」を見守ります”



「先生、僕、あの子とお友達になったの!」。これは、私が担任する3歳児クラスのAくんから聞いて、うれしかった言葉です。

運動会の練習中、背の順で隣のBちゃん、なぜか手をつなげずにいたAくん。「先生も一緒に手をつなぐから、Bちゃんともつないでみよう」と、何度声を掛けても手をつなげない日々が半月ほど続いたある日、何気なくAくん理由を尋ねると、「あの子とはお友達じゃないから」と一言。同じクラスの子どもたちはみんな友達だと勝手に思い込んでいた私を、非常に驚かせた瞬間でした。

Bちゃんにこっそり理由を伝える

と、Aくん「お友達になろう」と話し掛けてくれました。Bちゃんの何気ない一言でしたが、Aくんにとっては友達との関わり方が大きく変わる出来事であり、このことがきっかけで、二人は手をつないで運動会の練習に参加できるようになったのです。

子どもの考えは、大人の予想とは異なることが多くあります。だからこそ子どもの目線になって考え、気持ちに共感することが大切だと思います。保育士にとって当たり前のことですが、子どもの目線に立つて保育する姿勢を大切にすると、面白いほどに子どもたちの世界が見えてきます。同じ出来事でも目線を変えることで子どもたちのさまざまな気持ちが見え、保育の仕事がますます充実したものになるのです。

うれしいときは一緒に喜び、悲しいときは一緒に悲しみ、悔しいときは一緒に悔しがる…。こうした些細なことを大切にすることで、より子どもたちの世界を感じられるようになります。時には悩むこともあります。私は保育士の仕事にやりがいを感じています。

皆さんも、彩り溢れる子どもたちの世界を見守る保育という仕事に、足を踏み入れてみませんか。

須和間幼稚園

宮本 彩子 教諭